



2021 年 7 月 26 日
秋 田 県
東日本旅客鉄道株式会社

秋田新幹線新仙岩トンネル整備計画の推進に関する覚書の締結について

秋田県と東日本旅客鉄道株式会社は、秋田新幹線新仙岩トンネル整備計画を推進するため、下記のとおり覚書を締結いたしました。今後は、相互に連携・協力しながら整備計画を進めてまいります。

1. 締結日 2021 年 7 月 26 日
2. 覚書名 秋田新幹線新仙岩トンネル整備計画の推進に関する覚書
3. 詳 細 別紙参照

本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR記者クラブ、国土交通記者会、秋田県政記者会、秋田鉄道記者クラブへお届けしています。

＜本件に関する報道機関お問い合わせ先＞

秋田県

観光文化スポーツ部交通政策課

調整・広域交通班 TEL 018-860-1282

東日本旅客鉄道株式会社 広報部報道グループ

TEL 03-5334-1300

1. 整備計画の概要等

- (1) 事業区間: 秋田新幹線 赤渕駅(岩手県)～田沢湖駅(秋田県)間の約15kmの区間
- (2) 工 期: 着工より約11年を想定
- (3) 事業費: 約700億円
- ※下記の調査等により今後精査
- (4) 主な整備効果(2020年3月 秋田県交通政策課による委託調査):
- ・建設投資による経済波及効果: 約1,113億円
 - ・時間短縮による利用者便益: 年間約11億円(約7分間短縮)
 - ・社会的損失の回避・低減: 運休・遅延による損失回避、安定運行による鉄道の信頼性向上

2. 覚書締結に至る経緯

- 秋田県とJR東日本は2017年11月以降、協力しながら秋田新幹線新仙岩トンネル整備計画の実現に向け、経済波及効果分析や、国による予算措置等を求める要望等を実施
- 現在、国への要望等をより説得力を持って行えるように、本整備計画の実現に向けた具体の取組、連携方策について秋田県とJR東日本との間で協議を進め、事業化に資する調査を連携して実施することなどを検討

3. 覚書の概要

(1) 目的

- ・この覚書は、本整備計画の早期実現に向けた基本的な事項を定める

(2) 計画実現に向けた合意

- ・両者は本整備計画の早期実現に合意し、取組の推進に当たっては、緊密な連携のもと、情報の交換等に努める

(3) 実施内容

- ・事業スキーム確定に向けた検討
- ・事業化に資する調査及び検討
- ・財政的支援を得るための国への働きかけ 等

【計画範囲図】

